

## シリアの真実：独立国に対する作られた戦争

【訳者注】私はメディアの方々に、ここに言われているようなシリアの真実を、少しずつでよいから、読者・視聴者に知らせる努力をしてほしいと思う。そうでないと、我々がいつか、いきなり真実を明かされて、今までの情報がすべて間違いだったと知ったときの、ショックが大きすぎるだろう。ちょうど日本の終戦のときのような、あるいはそれ以上の、混乱と戸惑いが起こるのであろう。この冒頭の「なぜ？ どうして？」という素朴な問いさえ、今は禁止されているような、戦時の言論統制のような雰囲気がただよっている——シリアに限らず。

Caleb T. Maupin

May 29, 2016, Information Clearing House

世界中の人々が、西側のリーダーとその同盟者に訊ねるべきである：——なぜあなた方は、戦争を長引かせているのか？ なぜあなた方は、テロリストに資金や便宜を与え続けるのか？ 5年間の内戦はもう十分ではないのか？ シリア政府を倒すことが、本当に、これほどの苦しみと死に値するのか？



4月下旬に、バラク・オバマ大統領は、250の米特殊作戦部隊がシリアに配備されつつあると通告した。この国の反テロ・キャンペーンを援助している、ロシアやイラン軍とは違って、アメリカ軍要員は、国際的に認められている政府の意志に反して、シリアに入っている。

国際法から見れば、アメリカは、主権国家であり国連加盟国であるシリアを侵略している。しかしこれは初めての事ではない。アリゾナ州選出上院議員ジョン・マケインは、2013年に、反政府戦闘家たちに会うために、ビザなしでシリアに潜入した。

<http://www.globalresearch.ca/did-john-mccain-meet-with-abu-bakral-baghdadi-the>

[alleged-head-of-the-islamic-state-isis-isil-daesh/5498177](http://alleged-head-of-the-islamic-state-isis-isil-daesh/5498177)

この新しい米地上軍は、公的には、ダエシュ（Daesh、西側で ISIS とか ISIL とか呼ばれる組織のアラビア語頭文字）と戦う目的で派遣されたものだが、彼らはほとんど確実に、ペントゴンの長年の対外政策目標——暴力的にシリア政府を倒すこと——を達成するために活動している。

<https://theintercept.com/2016/04/29/as-more-american-boots-hit-the-ground-in-syria-us-parses-boots-and-ground/>

ダエシュと他の過激主義者のテロ行為が激しくなり、何百万というシリア人が難民になっている以上、シリアでの米政府の“政権交代”作戦による深刻な犠牲が、当然問われなければならない。

## 教育、医療、国家再生

現在、西側の外交政策によって標的にされている、独立国家主義のシリア政府は、植民地主義に抵抗する闘争の中で生まれた。この国を外国の支配——最初はフランス帝国による、後には傀儡リーダーによる——から解放するには、何十年にも及ぶシリア人民の犠牲を必要とした。過去数十年の間、シリアは、石油の豊かな中東地域で、強い、自立した国家だった。それはまた比較的平和な国だった。

独立を勝ち取ってからは、シリアのバース党政権が、人民の生活水準を改善するために大きな仕事をした。1970年から2009年の間に、シリアの平均余命は17歳延びた。この期間中に、乳幼児の死亡率は、1000件の生存出産につき132だったものが、17.9へと劇的に下がった。[Avicenna Journal of Medicine](#) に発表されたある論文によれば、公衆健康衛生におけるこの顕著な変化は、医療をこの国の辺鄙な地方にまで拡大したシリア政府の、努力の結果だった。<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3697421/>

米議会図書館の発行する [1987年版シリア国家研究](#) は、教育の分野での非常に大きな進展に言及している。1980年代に、シリアの歴史で初めて、この国は「男児の初等教育の完全就学」を達成し、女兒もまた85%が初等教育を受けるようになった。1981年には、42%のシリアの成人が未識字だった。1991年には、シリアの未識字は、政府主導の大衆識字運動によって完全に解消された。<http://countrystudies.us/syria/37.htm>

シリアの中心政党の名前は、「バース (Baath) アラブ社会党」という。アラビア語の Baath は、字義的には「再生」または「復活」を意味する。生活水準の点では、バース党はその字

義通りの働きをし、独立した、きちんと計画され統制された経済による、完全に新しい国をつくり出した。米議会図書館の「国家研究」は、1980年代のシリアにおける大規模な建設を説明している——「灌漑、電気、水道、道路建設計画、それに医療施設や教育の辺境への拡充のための巨額の支出が、繁栄に貢献している。」

<http://countrystudies.us/syria/39.htm>

シリアに支配されたイエメン、アフリカの多くの国、また経済的・政治的独立を樹立したことの無い、地球上の他の地域に比較すると、シリア・アラブ共和国の達成した事業は、非常に魅力的にみえる。CIA World Factbookによると、半世紀以上にわたる、シェール石油や他の西側の企業からの投資にもかかわらず、ナイジェリアの識字率は60%ほどで、住宅や医療の利用は非常に限られている。アメリカに支配されたグアテマラでは、ほぼ18%の人々が未識字で、田舎では全体的にひどい貧困状態だと CIA World Factbook は言う。

<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/ni.html>

西側の入植者が数世紀の支配の間にできなかったことを、独立したシリア政府は、ソビエトや他の反帝国主義国の援助によって、迅速に達成することができた。ソ連はシリアに1億ドルのローンを提供し、ユーフラテス河に「タブカ・ダム」を建設させたが、これは「シリアにおけるすべての経済的・社会的発展の土台と考えられた。」900人のソ連の技術者が、この国の多くの地方に電気を送るインフラストラクチャー計画に協力した。このダムはまたシリアの地方全体の灌漑を可能にした。

[http://www.unu.edu/env/workshops/Aleppo/Workshop\\_Report.doc](http://www.unu.edu/env/workshops/Aleppo/Workshop_Report.doc)

より最近では、中国が、シリアのエネルギー企業との、多くの合同事業を始めている。Jamestown 財団の報告によれば、2007年に、中国はすでに「この国の老朽化する石油とガスのインフラを現代化する」ために、シリアに「数億ドル」を投資していた。

[http://www.jamestown.org/single/?no\\_cache=1&tx\\_ttnews%5Btt\\_news%5D=5231#.V0S SMvkrKJA](http://www.jamestown.org/single/?no_cache=1&tx_ttnews%5Btt_news%5D=5231#.V0S SMvkrKJA)

シリア人民のためのこれら多大な利益は、西側の評者がきまって“独裁者アサド”物語で繰り返すように、一蹴して無視すべきものではない。常に教育や医療の恩恵に浴している人々にとっては、そのような態度は、彼らの達成したものを小ばかにするものである。何百万という、特に辺境の、数十年前まで極端な貧困状態にあった、シリア人民にとって、水道の水、教育、電気、医療、大学教育などを利用できるということは、膨大な生活改善なのである。

アメリカの外交政策に狙われている、ほとんどすべての他の政権と同じように、シリアは強い、国内的にコントロールされる経済体制をもっている。シリアは、その周辺の湾岸独裁君

主国のような“従属国”ではなく、彼らはしばしば、アメリカやイスラエルに刃向かう行動をしている。この国に対する西側の攻撃を動機づけるのは、それであって、人権に関する利他的な関心ではない。

## シリアが必要としているのは改善で、テロリズムではない

2012年に、シリアは、“アラブの春”の間に起こった抗議に呼応して、新しい憲法を批准した。新憲法に従って、シリアは2014年、14か国の国際的オブザーバーのもとで、競争選挙を実施した。

[http://sputniknews.com/voiceofrussia/2012\\_02\\_27/67032805/%2529](http://sputniknews.com/voiceofrussia/2012_02_27/67032805/%2529)

<http://www.globalresearch.ca/syrian-election-observers-expression-of-peoples-will-was-valid-and-the-polls-passed-in-a-democratic-and-positive-atmosphere/5385394>

シリアが、サウジアラビア、カタール、バーレーン、その他、この地域のいろんな米同盟政権と違うところは、宗教の自由である。シリアでは、スンニ派、キリスト教、アラウィ派、ドゥルーズ派、ユダヤ教、その他の宗教集団が、それぞれの宗教慣行を自由に行うことが許されている。政府は世俗的（非宗教的）で、スンニ・ムスリムの多数派も、宗教的少数派も、その権利を尊重している。

宗教の自由に加えて、シリアは公然と、2つの強力なマルクス・レーニン党の存在を容認している。シリア共産党とシリア共産党（バクダシュ）は、公然と、バース・アラブ社会党を支持する反帝国主義連合の一部として活動している。共産党は、ダマスカスやこの国の他の場所の、労働組合や共同体組織をリードしている。

シリア大統領バシール・アル・アサドは、アラウィ派だが、彼の妻アスマは、この国の大多数であるスンニ派である。歴史的に、シリア政府の最大の反対者は、1982年に起こった流血の歴史をもつ、「ムスリム同胞団」である。長年の緊張関係を解きほぐそうとして、アサド大統領は、最近、スンニ共同体への連帯の、多くのジェスチャーを行っている。彼は、モスクでの祈祷やコーランの勉強など、通常はアラウィ派が行わない宗教習慣に、加わるように努めている。<http://www.reuters.com/article/us-mideast-crisis-syria-assad-idUSKCN0RO1U720150924>

2011年に戦争が始まった直後に、シリア政府は、クルド人居住地区に自治権を与え、左派クルド国家主義組織に、政治権限を移譲した。

<http://www.mcclatchydc.com/news/nation-world/world/article24733318.html>

シリアの政治システムは、確かに改革と現代化が必要で、国連大使バシヤール・アル・ジャリーナのようなシリア政府代表が、これを率直に認めている。しかし、過去 5 年間、シリア全土で荒れ狂った内戦は、改革や民主化や現代化に関することではない。

<http://www.nytimes.com/2011/04/27/world/middleeast/27nations.html? r=0>

BBC が 2013 年に、「シリア反乱軍ガイド」を出版した。彼らの中には、現在、世界を震撼させている、悪名高い“イスラム国”組織だけでなく、シリアでは以前、アルカーイダとして知られていた“ヌスラ・フロント”も含まれている。“イスラミック・フロント”とか、“イスラム解放フロント”とか、“Ahfad al-Rasoul 旅団”といった名前の他の組織も、リストに上がっている。<http://www.bbc.com/news/world-middle-east-24403003>

西側メディアは、シリアの内戦のことを、“革命軍”に率いられた“民主主義のための戦い”だと言っているが、ほとんどすべての反乱組織の主たる目標は、スンニ派のカリフ国を創ることである。ただ、これは現実にスンニ派に調和するものでなく、むしろ、この地域をイデオロギー的に支配するためにサウジアラビアが創った、スンニズムの、捻じ曲げられ政治化されたバージョンである。シリアの“反乱軍”についての統一的な宗教的見方は、“ワッハービズム”と呼ばれるもの——サウジアラビアが実行し推進している、スンニ・イスラムの解釈である。

## 外国人戦闘家、化学兵器、子供兵士

反乱者たちの大多数はシリア人ではない。中東全体からきた貧困に追い込まれた人々が、シリア政府と戦うように募集されたものである。バーレーンの施設が、応募者に殺しの方法を教え、シリアに送っている。<http://www.al-monitor.com/pulse/originals/2013/06/bahrain-jihadists-syria-salafism.html>

テロリストの訓練施設は、他のアメリカと結んだ多くの湾岸諸国に存在する。遠くは、マレーシアやフィリピンから来た外国人戦闘家が、シリア政府を倒そうとする、外国人ワッハービ反乱部隊の中に混じっている。

残忍な反乱兵のシリアへの流入は、偶然によるものではない。それはアメリカとその同盟国が、直接、便宜を図ったものである。CIA は、反政府戦闘家のための、ヨルダンの訓練キャンプに、何十億ドルもかけている。

<http://www.cbsnews.com/news/ap-us-training-syria-rebels-in-jordan/>

アメリカと結んだトルコとサウジの政府は、公然と、ヌスラ・フロントを支持しているが、

これは、すでにシリアで、何万人もの罪のない人々を殺したアルカーイダと、繋がった組織である。David Petraeus 元帥は、アメリカがこの努力に参加して、武器を直接ヌスラ・フロントに送ることを要請している。

<http://www.independent.co.uk/news/world/middle-east/syria-crisis-turkey-and-saudi-arabia-shock-western-countries-by-supporting-anti-assad-jihadists-10242747.html>  
<http://www.theguardian.com/commentisfree/2015/sep/02/david-petraeus-bright-idea-give-terrorists-weapons-to-beat-isis>

イスラエル政府は、占領されているゴラン高原に、ワッハービ過激主義者のための医療設備を設けることによって、彼らを援助していると強調している。イスラエルはまた、シリア政府の同盟軍を空爆していると強調した。

<http://www.timesofisrael.com/yaalon-syrian-rebels-keeping-druze-safe-in-exchange-for-israeli-aid/>  
<http://www.israelnationalnews.com/News/News.aspx/206253#.Vz9lLfkrKJA>

西側メディアは、シリア政府が化学兵器を使ったという主張を強調してきたが、国連の Carla Del Ponte は、外国に支援された反乱軍がずっと前から、サリン神経ガスや他の化学兵器を使っていることを確認した。(訳者：5/24「悪魔化の危険：西側ニュース・メディアの崩壊」参照。)

<http://www.independent.co.uk/news/world/middle-east/uns-carla-del-ponte-says-there-is-evidence-rebels-may-have-used-sarin-in-syria-8604920.html>

反乱兵はシリアでの生活を不可能にし、身代金を求めて誘拐し、学校や病院を爆撃し、人々の首を切り、また拷問しているが、これを彼らは、兵士の中に沢山いる子供を使ってやることがある。アラブ世界全体の貧困化した子供たちが集められ、シリア政府を暴力によって倒すために働かされている、と UNICEF は報告している。

<http://www.reuters.com/article/us-mideast-crisis-syria-children-idUSKCN0WG0R0>

人口の 50 から 72%が、シリア政府のコントロールする領域に住んでいる。一方、USAID (米国際開発庁) でさえ、シリアの 2014 年選挙の投票者数は、70%以上だったことを確認している。

<http://www.vox.com/2015/2/2/7963447/syria-control-territory>  
<http://journal-neo.org/2016/04/23/syrian-elections-confirm-wests-worst-fears/>

多くの外国兵と過激派が、人民の少数派と結び、西側強国とその同盟国から武器を得て、シリア政府を倒すことに専念しているが、シリア国民は明らかに反対している。シリア政府が

5年間の襲撃の後でも、完全に無傷のままであるという事実は、この国が独立を保つ決意が固いことを示している。雑誌「タイム」や他の主流メディアは、アサド大統領が退任させられることはありそうにないと、認めざるを得なくなっている。

## どうしたら戦争が終わるのか？

外国人の戦闘家がシリアに流れ込むようになって、何万という人々が過去 5 年間に亡くなった。が、西側メディアは、シリア政府がこの戦争を起こしたのだと言い続けている。しかしこの戦争は、もし過激派に対する外国の支援がなければ、すぐにも終わっていたであろう。

中央によって計画された経済制度をもつ独立国として、シリアは世界に範を示すのに役立っていた。それは、ネオリベリズムも西側の経済的支配もなしに、生活条件を改善し、独立して発展することが可能なことを証明した。シリア政府は、パレスチナ人民と、彼らのイスラエルに対する抵抗を助けて、多大の犠牲を払ったが、これが、米務省の“テロリズム国家スポンサー”のリストに、シリアが含まれる大きな理由になっている。シリアは、ロシアおよびイラン・イスラム共和国と、強い経済的関係をもっている。

<http://www.cfr.org/syria/state-sponsor-syria/p9368>

シリアで起こっている戦争は国内紛争ではない。それは、イスラエル、アメリカ、および他の西側資本主義強国が、シリアに仕掛けた戦争である。ワッハービ過激思想を世界に広めた張本人はこれまでずっと、アメリカの従属国、サウジアラビア王国だった。シリアに隣接するアメリカと結んだ国家、トルコおよびヨルダン、国境を開放して、兵器や物資やカネが、ダエシュや他の反政府テロリストの手に、流れ続けるようにしている。

少なくとも 47 万の人々が死に、何百万もの他の人々が難民になることを強いられている。しかし、西側のリーダーと彼らの同盟者は、彼らの戦争キャンペーンをやめない。“アサドは退陣せよ”という狂気のコーラスは、小さな、国内騒乱事件を、大規模な人道主義的危機へと拡大してしまった。この戦争は、民主的改革とか 2011 年の平和な抗議とは、何の関係もない。[http://www.nytimes.com/2016/02/12/world/middleeast/death-toll-from-war-in-syria-now-470000-group-finds.html?\\_r=0](http://www.nytimes.com/2016/02/12/world/middleeast/death-toll-from-war-in-syria-now-470000-group-finds.html?_r=0)

ダエシュが今、世界全体を脅迫するようになって、“人権”プロパガンダを使ったウォール街の政権交代作戦が、さらに過激なものになりつつある。シリア政府は、キリスト教徒、共産主義者、イスラム革命家、その他、安定を維持し、タクフィリ・テロリズムを敗退させようと戦っている諸勢力を、糾合しようとしている。(Takfiri とは、自分以外のムスリムを背教者と呼び、暴力によってカリフ国を作ろうとする、スンニ派ムスリム集団を指す。)

シリアにとって唯一の真の平和のシナリオは、米、仏、英、サウジアラビア、トルコ、ヨルダン、その他の強国が、彼らのネオリベラル十字軍運動をやめることである。国際的に承認され、最近、再選されたシリア政府は、外国の干渉がなくなりさえすれば、容易く反乱軍を敗退させることができるだろう。

米メディアが人道主義的危機を嘆き、どうしてか、シリア政府とその大統領を責め、米政府が直接、自国軍をこの国に送り込んでいるこの時、世界の人々は、西側リーダーとその同盟者たちにこう訊ねるべきである：——なぜあなた方は、この戦争を長引かせているのか？なぜあなた方は、シリアをほっておくことができないのか？なぜあなた方は、テロリストに資金と便宜を与え続けるのか？5年の内戦はもう十分ではないのか？シリア政府を倒すことが、本当に、これほどの苦しみと死に値するのか？

(カレブ・モーパンは、MintPressのジャーナリスト、政治アナリスト。ニューヨーク市に住み、主として、アメリカの外交政策と、独占資本主義および帝国主義の地球的システムを対象にしている。)